

# 西原町脳神経外科クリニック

## 腫瘍マーカー資料

CA19-9	
基準値	37.0u/ml以下
主な疾患	膵臓がんをはじめ、胆道、胃、大腸のがんなど、主に消化器のがんで高値になります

CEA	
基準値	5.0ng/ml以下
主な疾患	大腸がんなどの消化器のがんをはじめ、肺、卵巣、乳がんなどで高値になります。 喫煙や炎症性疾患、肝硬変、糖尿病で高値になることもあります。

CYFRA	3.5ng/ml以下
主な疾患	扁平上皮がんで高値になり主に肺の扁平上皮がんや頭頸部腫瘍の経過観察に用いられます。

AFP	10.0ng/ml以下
主な疾患	臓器特異性の高い腫瘍マーカーで、肝がん、卵巣や精巣の胚細胞がんで高値になります。まれにAFPが高くなる胃がんもあります。慢性肝炎や肝硬変、妊娠などでも値が上昇します。

PSA	4.0ng/ml未満
主な疾患	前立腺に特異性の高い腫瘍マーカーで、がんの発見や経過観察に重要な役割を果たしています。前立腺炎や前立腺肥大で上昇することもあります。

CA125	35.0ng/ml以下
主な疾患	卵巣がんで高値になりやすく、その他子宮体がんや、膵臓、胃、大腸などのがんで高値になることがあります。子宮内膜症、月経、妊娠、肝硬変、膵炎などでも上昇します。